

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第18報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
平成28年8月1日

1. 最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



Anabaena flos-aquae
(アナベナ フロスアクアエ)
藍藻綱

細胞は球形ないし樽形で、不規則に曲がる糸状体を形成し、しばしば絡み合っ塊をつくる。異質細胞は球形であり、アキネートは長い楕円形で少し曲がる。

動物プランクトン第1優占種



Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長いいためゾウミジンコと呼ばれている。

コメント

植物プランクトンでは、藍藻に属するアオコ形成種アナベナ・フロスアクアエ (*Anabaena flos-aquae*) が優占種となった。体積で見ても、アナベナ・フロスアクアエが優占種となった。本種はかび臭生成が認められていない種である。網別の体積では、藍藻類が総体積の約77%、珪藻類が約14%を占めた。動物プランクトンでは、甲殻類のなかまのゾウミジンコ (*Bosmina longirostris*) が160個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは、230,000細胞/mLで、そのうち輝橙色のものが87%、深赤色のものが13%であった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/L)
甲 殻 類	<i>Bosmina longirostris</i>	160

第 2 優 占 種		個体数 (個体/L)
甲 殻 類	Nauplius幼生	80

* 個体数については、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係

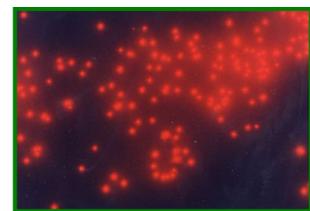
(2) 植物プランクトン

平成28年8月1日

第18報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	2		
(藍) <i>Microcystis novacekii</i> *	2		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	140		
(藍) <i>Chroococcus dispersus</i> *	40		
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> *	3		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	60		○
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	80		
(藍) <i>Anabaena flos-aquae</i> *	520	◎	◎
(珪) <i>Melosira varians</i>	40		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	240	○	
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	40		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	20		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	200		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	16		
(他) <i>Merotrichia capitata</i>	20		
(藍) 藍藻綱	847	52.2	77.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	460	28.3	14.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	17.3	4.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	16	1.0	0.0
(他) その他のプランクトン	20	1.2	4.4
総 細 胞 数	1623	総体積	3.99E+06
種 類 数	19	(μm ³)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)
ただし*印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	8月1日	細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.		230,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2μm(1μmは1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。